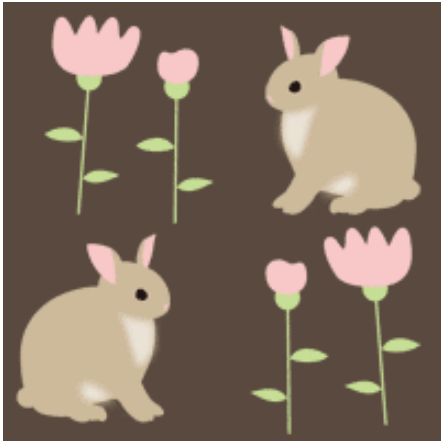


一歩

「部活動」と「学習」



昨日、ことわざ「二兎を追う者は一兎をも得ず」を一歩で取り上げました。「二匹のうさぎを追う者は、一匹のうさぎすら得ることができない」という意味で、2つのことを同時に取り組むとどちらもいい加減になってしまうから気を付けなければいけないということです。

生徒のみなさんは、「学習」と「部活動」の2つに取り組まなければいけません。これは、このことわざ「二兎を追う者は・・・」になるのでしょうか。今はテスト前で、部活動が停止期間になっているのでテスト勉強一本に集中できます。テストが終わり、その後勉強との両立はどうすればいいのでしょうか。「二兎」はいけないから、どちらか一方をあきらめますか？なかなかそこまで潔く割り切れるものではないはずです。大会も間近になってきた部活動も大切ですし、卒業時に関わる進学・進路についても大切です。

部活動と勉強を二つ同時にしようとするからできないのであって、「部活動に集中する時間」と「学習に集中する時間」を分けて別々に取り組めば、どちらもその力を伸ばせます。テスト直前の部活動停止期間のように、一つに集中できるときもありますが、一年間のほとんどが並行して取り組む期間です。部活動と学習は「二兎」でなく、計画的に取り組むことで何とかできるようなしななければいけないものにとらえ、取り組んでいきましょう。

あなたは、部活動と学習の二つの取組を、どのようなやり方で取り組みますか？



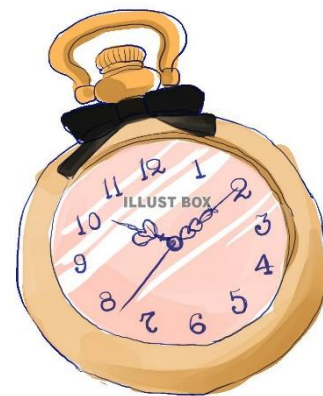
成功・失敗と、その原因



修学旅行は、成功に終わることができました。事故やケガもなく、仲間やお世話になった人たちに迷惑をかけることもありませんでした。そして、楽しく充実した見学や体験をたくさんしました。

もちろん失敗やうまくいかないことがゼロだったわけではありません。たとえば、2日目の京都班別自主研修で、体験活動を予定していて体験場所に遅れた班がありました。体験場所に行く前の見学先に向かう時、反対方面に向かうバスに乗ってしまったため、体験場所から遠ざかり到着予定時刻に遅れてしまいました。京都は、ほとんどの生徒にとって初めて訪れた地ですから、土地勘のない失敗は起こっても仕方ありません。失敗して予定が変わることは仕方のないことですが、相手が待っている体験場所に遅れる時は「訪

問先(体験場所)に遅れることを連絡する」ことが必要です。みなさんは、到着する努力を懸命にしていますが、訪問先へ遅れる連絡ができませんでした。これは、生徒のみなさんの失敗なのですが、実はそれを指導していた私たち先生方の失敗でもあり、反省しています。修学旅行前の準備を万全にし、修学旅行中も、みなさんの就寝後その日の活動を振り返り、次の日以降の活動に活かすようにしていました。また、帰ってきてからも、みなさんの活動を再度確認し振り返りをしたとき、生徒のみなさんに出発前に事前学習させておくべき内容が不足していたことと感じています。具体的には「体験場所に遅れる場合」について、みなさんが「いつ」「どのような」行動をすればいいのか、先生たちの指導・説明が不十分であったと反省しています。たとえば、体験先の電話番号を書き留めておき、遅れそうなら到着時刻何分前には電話連絡を入れるか、どういう状況になったら電話連絡をした方がよいなどをみなさんには伝えていませんでした。申し訳ありませんでした。



成功する人は、成功する準備をしています。逆に、失敗したときは、必ず失敗の原因があります。それを理解し、取り組むという練習を積み重ねていくことで、みなさんは成長していきます。漠然(読み:ばくぜん、意味:何となく)と、成功したとか、失敗したと、宝くじの当たり外れのように一喜一憂(読み:いっきいちゆう、意味:状況の変化について喜んだり、心配したりすること)しているようでは、成功しても失敗しても偶然でしかなく、次の成功はありません。

成功を得るための、取り組み方を見つけ、身につけてほしいと思っています。身につけるには、継続する努力も必要です。

6月のランチ 予約大丈夫？

来週はもう6月です。3日が月曜日ですが、前期中間テスト1日目のため昼食は自宅で食べ、ランチはありません。6月は4日(火)からランチが始まりますが、ランチを食べる人は、予約が済んでいますか。予約機で1週間前まで予約できます。4日(火)のランチが必要であれば、今日が予約できる最終日です。毎月、月初めはランチ忘れが必ずあります。4日(火)のランチは、今日予約するか、またはお弁当の準備などをしてくるよう忘れないようにしてください。

